

2016年12月9日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の安全情報52号

市内ファベラでイタリア人観光客が殺害

12月8日（木）、リオ市サンタテレザ地区に位置するファベラ（スラム街）に誤って入り込んだイタリア人観光客が殺害される事件が発生しました。

1 発生日時

12月8日（土）午後0時ころ

2 被害の状況

イタリア人観光客2名がオートバイ（2台）でコルコバードの丘（キリスト像）を訪れ、帰りに誤ってサンタテレザ地区のファベラである Prazeres 地区に入り込んだところ、うち1名が同ファベラ内の麻薬密売組織に身柄を拘束された。拘束されたイタリア人（52歳）は、頭と腕をけん銃で撃たれ、殺害された。

州警察では、同ファベラ内からイタリア人男性の遺体を搬送し、オートバイ2台を差し押さえた。もう一名のイタリア人観光客については無事が確認されている。

【当館から】

リオ州警察では、被害者らがコルコバードの丘を出発する際、携帯のGPSアプリを使用したところ、同アプリが被害場所であるファベラを通行ルートとして示した可能性があるとみて捜査しています。

GPS はルート検索する際に安全は考慮してくれません。「近い道」より「安全な道」を選択しましょう

万が一車両でファベラに迷い込んでしまったら、以下の点に留意し、早期離脱を図って下さい。

- 車のライトをハイビームにしない（相手側がこちらを視認できず、いきなり襲われる可能性があります）
- 車内のライトをつける（姿を明らかにし、怪しくないことをアピールする）
- いち早く近隣の住民を探し、迷ってしまったことを説明し、協力を求める。